

（第1面）

## 産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 30日

群馬県知事 殿



提出者 〒377-0004  
住 所 群馬県渋川市半田2470番地  
氏 名 ジェーシーボトリング株式会社  
渋川工場長 板倉 晃士  
電話番号 0279-23-8810

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ジェーシーボトリング 株式会社
事業場の所在地	群馬県渋川市半田2470番地
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：飲料・たばこ・飼料製造業
②事業の規模	売上高 4,525百万円
③従業員数	142名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙の通り

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥
	排出量	2824 t	2219 t
	(これまでに実施した取組) 有価販売		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥
	排出量	2000 t	2000 t
	(今後実施する予定の取組) 有価販売量の拡大		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣・脱水汚泥・廃プラスチック類・廃油
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣・脱水汚泥・廃プラスチック類・廃油

(第 2 面) - 3

t	t	t	t

t	t	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

## (第4面)ー1

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥
	全処理委託量	2824 t	2219 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2824 t	2219 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面) -3

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥
	全 処 理 委 託 量	2000 t	2000 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1000 t	1000 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 有価販売量の拡大		
※事務処理欄			



(第5面) - 3

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

(第6面)

備考

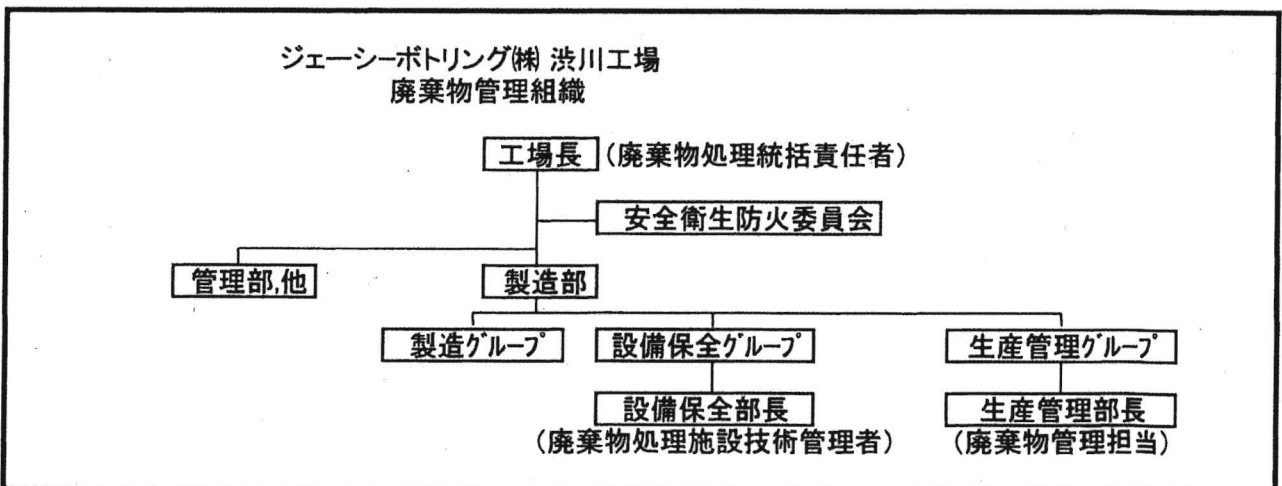
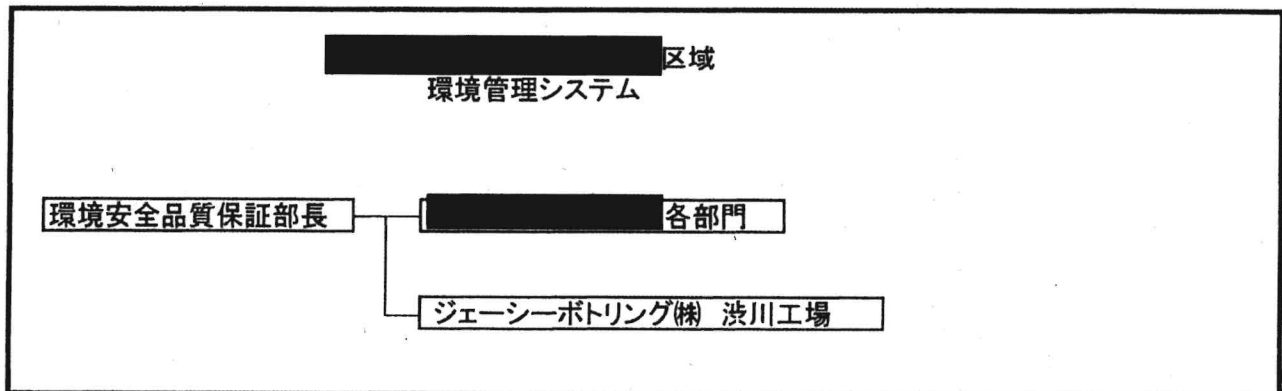
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 別紙

## 責任者及び管理組織図

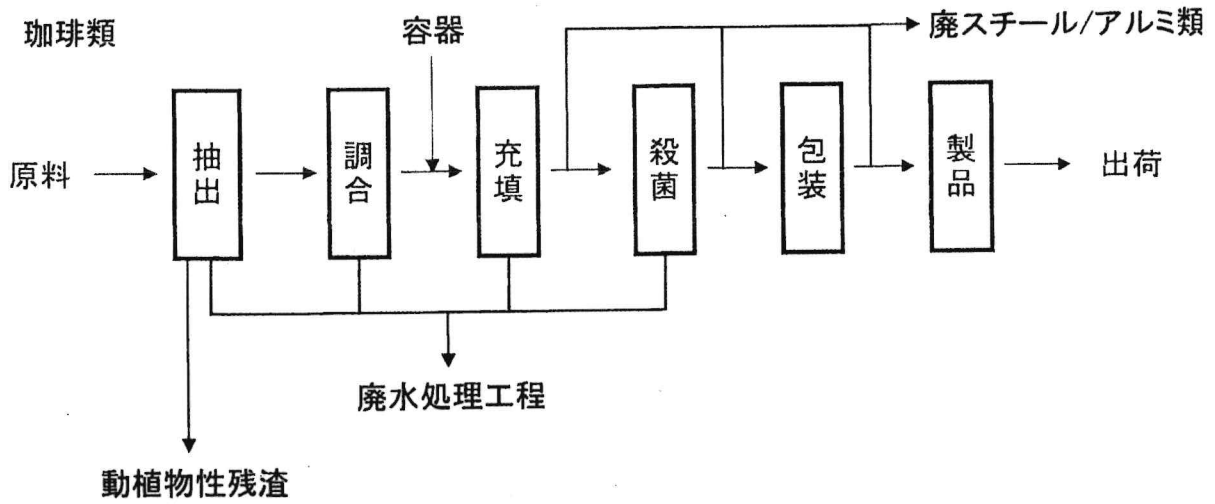
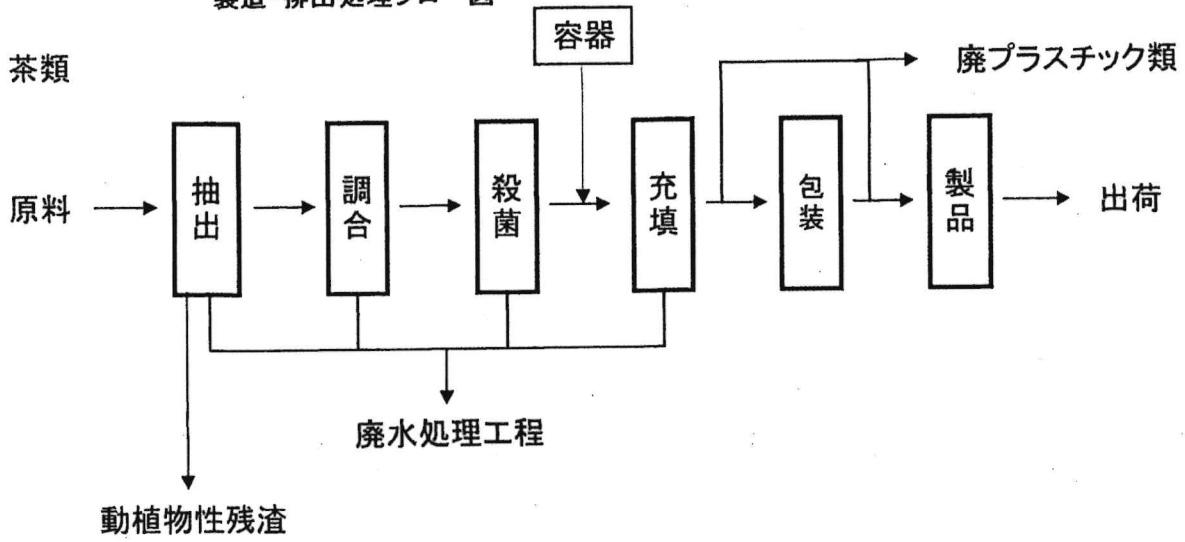
統括責任者	所 属: 渋川工場	職: 工場長
廃棄物担当	組 織 名: 生産管理グループ 人数: 8人	職: 生産管理部長
	組 織 名: 設備保全グループ 人数: 6人	職: 設備保全部長
役割	〇 廃棄物関係を含むISO14001規格にのっとりた環境管理システム ・最高責任者 [ ] 環境安全品質保証部長	
	〇 事業所区域環境マネジメントシステムに参加 〇 廃棄物処理方針の策定 〇 産業廃棄物処理委託契約の締結	
	〇 廃棄物処理計画の作成 〇 廃棄物管理状況の把握と改善案の検討 〇 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 〇 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 〇 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 〇 監督官庁への各種報告 〇 社員、関連会社に対する教育・啓蒙 〇 その他に関する事項	

## 廃棄物管理組織



# 別紙

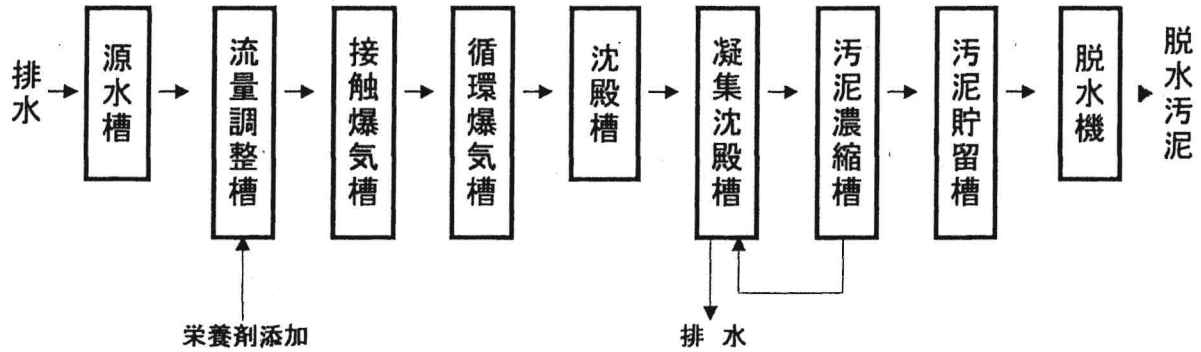
製造・排出処理フロー図



# 別紙

排水処理フロー図

排水処理工程



廃棄物処理フロー図

